

# 平成22年度事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人

少子高齢化対策支援協議会

## 1. 事業報告総括

本年度は、子供の健全育成や人権擁護を目的とした保育支援活動において、「出張による児童向けの出前イベント」、「父母も参加できる創作活動」、「育児相談」の定期開催を致しました。子供同士・親同士の交流を深める場の提供をすることができたと思います。また、育児相談の中では、子供を持つ親の悩みの多くは、不景気の煽りを受けた生活の現状にあることを知りました。

現在、悪化し続ける経済状況下で、両親共稼ぎの世帯が増える中、以前より保育施設の受け入れ時間の延長や土日の受け入れなど、行政も力を入れるところとなり、徐々に保育施設が柔軟な利用方法に対応しつつある一方、現実には就業する親御さんにとっては、もう少しの多様化を希望する声も増えております。

具体的には、『もう少し早朝・夜間の対応時間を長くしてほしい』、『病児・病後児の対応施設がとて少ない』というものでした。就業に合わせた保育施設利用ではなく、保育施設に合わせた就業を考えなければならない為、就業の幅が狭まり、就業自体が難しいものであるという現実苦しんでいる声が多いようでした。

特に『病児・病後児の受け入れ施設』の必要性を訴える親御さんが増えています。子供が病気になった時に預かってくれる親族が居なければ、育児をしながら就業は難しいのが現実のようです。不景気だからこそ人員削減を余儀なくされる企業が増える中、就業する職員も少数であり、緊急・長期の休暇を取るのも簡単ではない現実があります。

従来から当法人では、こどもの健全育成及び人権擁護の推進のために、無料一時保育や24時間営業など要望に柔軟に対処できる保育施設や学童施設の紹介を行ってまいりましたが、今後、病児・病後児対応施設などの紹介も併せ、利用者のニーズに対応した施設紹介や相談窓口になれるように活動を広げていくことが課題と感じております。

その他、コミュニティ活動面においては、まちづくりや地域の活性化のために「結婚活動」の推進に目を向ける自治体も増え始め、多くのご相談をいただきました。以前縮小化された、地域の「結婚相談窓口」に変わる動きとして、『婚活イベント開催』など企画する自治体も増え、少子高齢化対策の根幹でもある結婚支援に官民一体となって協力しあい、地域に根付いた活動を行うことで、地域おこしの輪が広がることを願ってやみません。当法人でも、結婚支援の活動や窓口を、一般の方々に認知していただく情報提供活動に一層力を注いでいきたいと考えております。

福祉の増進、まちづくりと地域活性化の為の活動をする上で、更なる課題点も見えてきた年であったと思います。今後は更に、地域全体に児童福祉・老人福祉・弱者支援に対する理解と協力を呼びかけ、ますます住民参加型の支援の輪が広がっていくように活動を推進していきたいと思っております。

定款の事業名	実 態 報 告 [ 実 例 抜 粋 等 ]																										
①児童虐待の防止や早期発見を目的とした無料一時保育や 24 時間営業など、要望に柔軟に対処できる施設紹介	<p>1. 保育施設紹介</p> <p>現在一時保育施設の問い合わせ数は減ってきております。 待機児童の減少と一時保育受け入れ施設が増えてきている結果と考えております。</p> <p>しかし、不景気による残業カット・自宅待機・ワークシェアリングなどで、親の収入が激減し、子供を育てる上でも、両親共稼ぎの必要な家庭が増えている反面、正規雇用が減少し、失業率も増える中、曜日・時間を問わず考えなければ就業の機会も無く、『もう少し早朝・夜間など、幅広い時間帯で保育施設を利用させてもらえれば』との声が増えております。</p> <p>また、不景気の折、人員に余裕のある企業は少なく『子供が病気にかかるとう仕事を休まざるを得ないが、急遽又は長期に渡って仕事を休むことが難しい』というのが現実です。核家族化が進む中、『緊急時に病気の子供を預かってくれるおじいちゃん、おばあちゃんが近くにいない』事で、困っている親が多く、【病児・病後児対応の保育施設】の必要性を感じております。</p> <p>当法人では、無料一時保育や24時間営業など、要望に柔軟に対処できる施設紹介を行ってまいりましたが、今後は、病児・病後児対応の保育施設紹介など、ニーズに沿った育児支援情報を提供できるように活動してまいります。未だ施設自体が少ない以上、当法人での病児保育対応施設の設立も視野に入れていければと考えております。</p>																										
②父母も参加できる創作活動、出張による乳幼児・児童向けの出前イベント・公演、育児相談窓口活動の定期開催	<p>1. 父母も参加できる創作活動や出張イベント参加人数</p> <table border="1" data-bbox="424 1155 1493 1294"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27人</td> <td>25人</td> <td>28人</td> <td>32人</td> <td>28人</td> <td>23人</td> <td>23人</td> <td>25人</td> <td>26人</td> <td>27人</td> <td>25人</td> <td>8人</td> <td>297人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 出張による出前イベント・公演</p> <p>月に1～2回程度、地域の公園に出張し、紙芝居・仕掛け絵本・手遊び等のイベントを開催する傍ら、育児相談の受付をしております。公園での遊びの際に、当法人のイベントを通じて、子供たちの交流する力を育てられる、親同士の交流の場になる、などと、喜んでいただいております。</p> <p>3. 育児相談窓口活動</p> <p>本年度の育児相談は、家庭の経済的不安からくるストレスにより、将来に閉塞感を持つ親のケースが多くありました。育児に対しても具体的な理由はなくとも、漠然とした不安を感じるようです。小さな事から打ち明けられる・相談できる窓口になれるように、もっと認知していただく努力をしてまいります。</p>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	27人	25人	28人	32人	28人	23人	23人	25人	26人	27人	25人	8人	297人
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計															
27人	25人	28人	32人	28人	23人	23人	25人	26人	27人	25人	8人	297人															

定款の事業名	実 態 報 告 [ 実 例 抜 粋 等 ]
③認可外保育施設を対象とした保育者ボランティアの収集と紹介	<p>1. 認可外保育施設を対象とした保育者ボランティア収集</p> <p>現在、当法人ホームページにてボランティアの収集をしておりますが、本年度は問い合わせがありませんでした。認可外施設では保育士の受け入れ態勢が整っていない、人員不足に悩んでいるという施設が多いのが実情となっております。時間や曜日を問わない認可外保育施設のニーズが高まる中、今後、更に力を入れてボランティア収集に取り組むことで、保育施設利用者の間口を広め、児童の放置や虐待が無くなるための活動をしてまいります。</p>
④DVまたは虐待被害者の一時避難者用シェルタールームの無料提供	<p>1. シェルタールーム報告</p> <p>本年度シェルター利用者は0件でした。県や市、警察等の対応が、新DV法によって確立されてきたものと考えております。ただ、未だ曜日や時間にとらわれない相談窓口は少ないようです。当法人が年中無休の対応を引き続き行っていくことで、被害者が減ることを願ってやみません。</p>
⑤中高生に家庭科の授業などを通じ、子育て体験や交流を持たせることで、結婚・出産・子育てのマイナスイメージを取り除く教育	<p>本年度は、中高生からの問い合わせがありませんでした。これはひとえに私どもの告知活動の不足が原因です。来年度は私どもから学校にご案内をするなどして、積極的な告知活動をしてまいります。</p>
⑥独居老人に生きがいをもたせ、安定した生活ができるための同居者支援やケア活動	<p>当法人が一番力を入れなければならない支援と考えておりますが、問い合わせはない状況でした。まだまだ認知度が低い点も大きな課題となっております。今後は、もっと地域を循環し、広報活動を行うこと、ボランティアを確保することで、利用していただくための活動を強化してまいります。</p>
⑦母子・父子家庭、高齢者、軽度肢体不自由者などの社会的弱者や過疎地域の農山漁村在住者、その他への結婚支援の情報提供やコミュニティ事業	<p>1. 母子・父子家庭、高齢者、軽度肢体不自由者の生活安定のための結婚支援また、一般の方にも結婚相談所情報の提供活動</p> <p>①適正結婚相談所の認証</p> <p>昨今では「結婚」ブームもあり、積極的に結婚活動を考える方が増えております。当法人では、相談者が安心して利用できる相談所の紹介をしております。料金・システム・法定書面交付・実績・個人情報の保護などを審査し、信頼性のある適正な結婚相談窓口の情報提供をしています。今後は、更に踏み込み、結婚紹介窓口の対応する人材も審査・認証していく「カウンセラー認証制度」への取り組みも検討しております。少子高齢化対策の根幹でもある結婚支援について、ハード面・ソフト面、双方からの対応できる窓口を増やし、利用者が安心できる環境作りをしてまいります。</p> <p>②生活の安定を求める方の生活支援制度採用窓口紹介</p> <p>希望される方に母子・父子家庭や高齢者、軽度肢体不自由者など、社会的弱者に対する「生活支援制度」を設けている結婚相談窓口の情報提供をしています。</p>

定款の事業名	実 態 報 告 [ 実 例 抜 粋 等 ]
	<p>2. 過疎地域や農山漁村在住者へのコミュニティ事業</p> <p>複数の役場や企業から、地域おこし・コミュニティ活動の一環として依頼をいただき、パーティーやイベント開催のアドバイザー派遣、過疎地域における出逢いのきっかけ作りのお力添えをしております。特に本年は、無料の情報誌を広範囲に設置する活動に力を入れてまいりました。</p>
<p>⑨行政・企業との協働や、個人への少子高齢化対策問題に関するセミナーやスクールの開催、及び情報誌や会報誌の発行</p>	<p>行政では、まちおこしや次世代育成に力を入れているのは事実ですが、現状は、具体策のある窓口が非常に少ないようです。ノウハウを持つ当法人が、小規模の場所であっても、少子高齢化対策のためのセミナーや講習会を開催したいと考えております。</p> <p>また、複数市町村より、少子化対策支援のための結婚対策指導を希望されております。</p> <p>その他、企業・自治体等の協力により、地域活性化・次世代育成推進誌の無料配布を行っております。</p>